第3回景観計画策定委員会の対応

No	指摘・意見	対応方針	該当ページ
1	・冒頭の景観まちづくりの全体像の「基盤の保全」に環境保全を入れるべきではないか	⇒「基盤の保全」に自然環境保全を追加した	冒頭
2	・冒頭の景観まちづくりキーワードは②治療、③予防は順番を逆した方がよい	⇒①診断、②予防、③治療、④育成、⑤創造の順に修正した	冒頭
3	・序章2.「長久手の景観を取り巻く社会潮流」の⑦情報化・デジタル化の進展のSociety5.0と長久手の景観に与える影響のデジタル・サイネージの展開が不自然	⇒Society5.0の記述を削除し、内容を変更した	P4、P5
4	・序章5.「景観まちづくりの市民・事業者・行政の役割」で、市民が景観について行政に提案することも盛り込む	⇒市民が行政に景観への思いや問題点を伝えることを追記した	P8
5	・序章5.「景観まちづくりの市民・事業者・行政の役割」の関係性図をそれぞれ内容をもう少し書き込むこと	⇒関係性図に双方の関係役割を記載した	P8
6	・農地の保全は、「基盤の保全」に入れる必要があると考える。第3章2.「景観形成に関する基本方針」に農地保全を入れることを検討すること	⇒基本方針3“まち”と“さと”に農地の保全を追記した	P30
7	・第4章「共感と協働の景観まちづくり」の「歴史的資源の眺望」の“長久手古戦場”の歴史を思い浮かべて”の文章がおかしい	⇒“長久手合戦”を思い浮かべて”に修正する	P51
8	・P53「市民協働で行う景観まちづくり」で、団体になることが目標ではないため、ステップアップの表現を見直す	⇒一人でも、グループ、地域でも、景観まちづくりには多様な主体があることを示した	P53
9	・P56の「これからの市民へ景観を引き継ぐ」で、転入者も多いため、これからの市民は消すべき	⇒より多くの人に関わりながら、景観まちづくり進めてく内容に変更した	P56
10	・景観計画で良い景観を作ることで、子供たちが地域愛を育み、住み続けてもらうようにしたい	⇒子どもも景観まちづくり一員であることを記載した	P56
11	・第4章「景観まちづくりの推進」の1.推進体制づくりで、県などの関係機関との調整をいれること。	⇒1.推進体制づくりで(6)関係機関との調整の項目を追加した	P66
12	・景観教育・学習の開催は、子どもだけではなく、地域に向けての啓発活動も必要	⇒地域に向けた景観まちづくり活動について追記した	P68
13	・景観計画を作ったら終わりとならないような、検証するような仕組みが必要	⇒今後の取組みについては、アクションプラン等を作成し、計画を作った後終わりとならない体制を検討する	